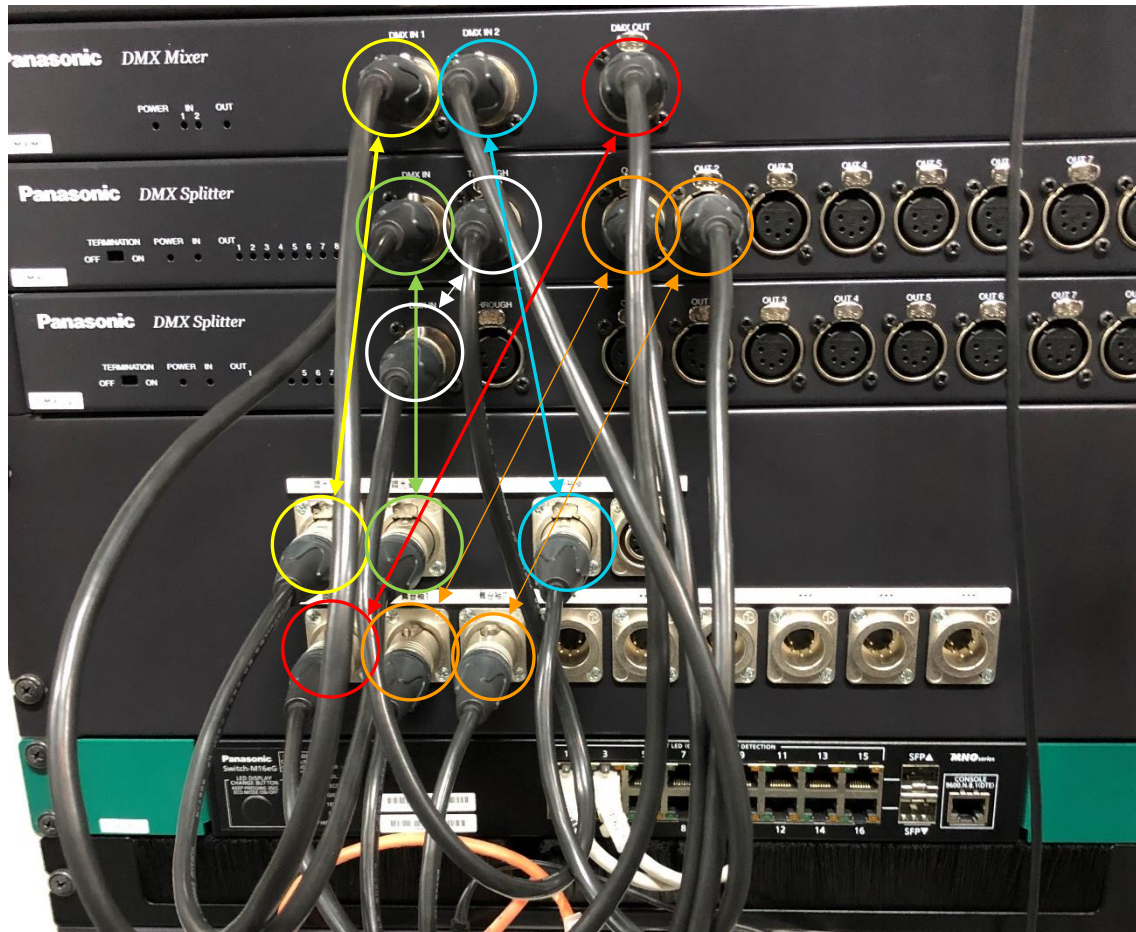


新潟ユニソンプラザ 多目的ホール DMX 信号について

2022 年 4 月 1 日現在

☆多目的ホール調整室 DMX ラックのパッチについて

パッチの基本形



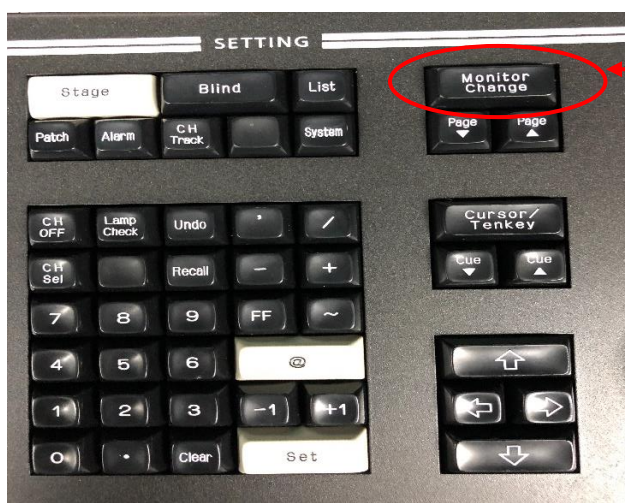
- ①DMX Mixer の **DMX1** と下パネル **調光卓1** をパッチ
- ②DMX Mixer の **DMX2** と下パネル **舞台袖卓** をパッチ
- ③DMX Mixer の **DMX OUT** と下パネル **調光装置** をパッチ
- ④DMX Splitter 上段の **DMX IN** と下パネル **調光卓2** をパッチ
- ⑤DMX Splitter 上段の **THROUGH** と DMX Splitter 下段の **THROUGH** をパッチ
- ⑥DMX Splitter 上段の **OUT1** と **舞台袖1**、**OUT2** と **舞台袖2** をパッチ

☆☆LED PAR 等の持ち込み機材を会館卓で操作する場合

持ち込み機材の信号ケーブルを下手袖の DMX OUT1・2 に接続して下さい。

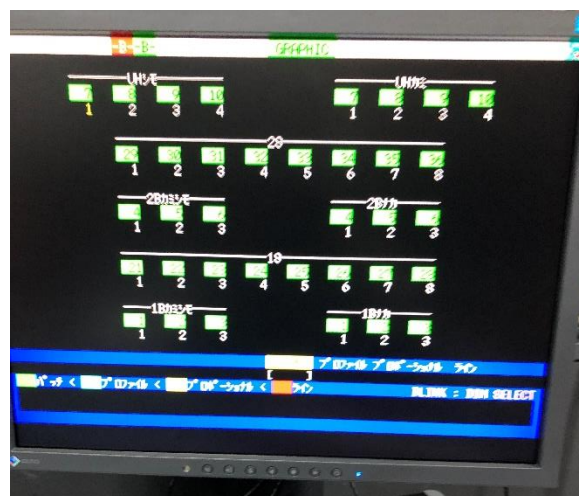


パッチは、調光卓パッチ場で画面を切り替えて、2系統目の513からの画面でパッチして下さい。



パッチ画面の切り替えは、
Monitor Change ボタンを
押すたびに切り替わります。

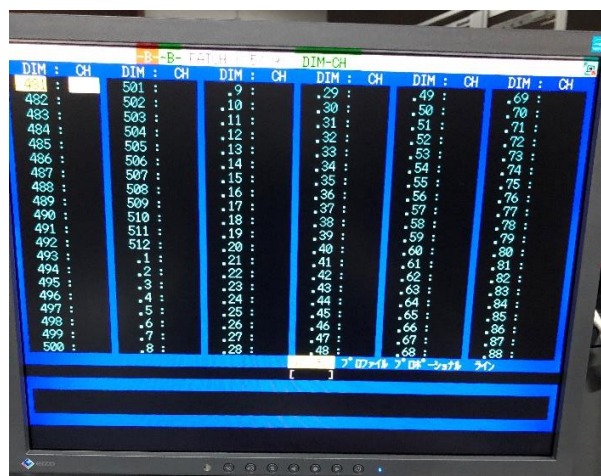
画面①



画面②



画面③

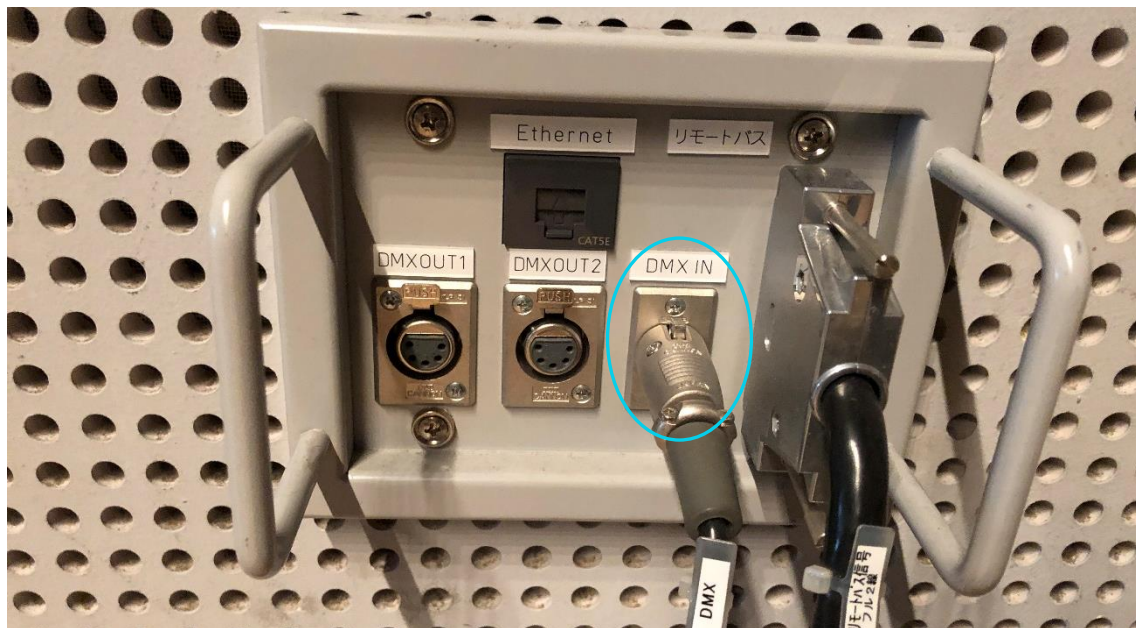


☆☆☆持ち込み卓で会館の設備を操作する場合

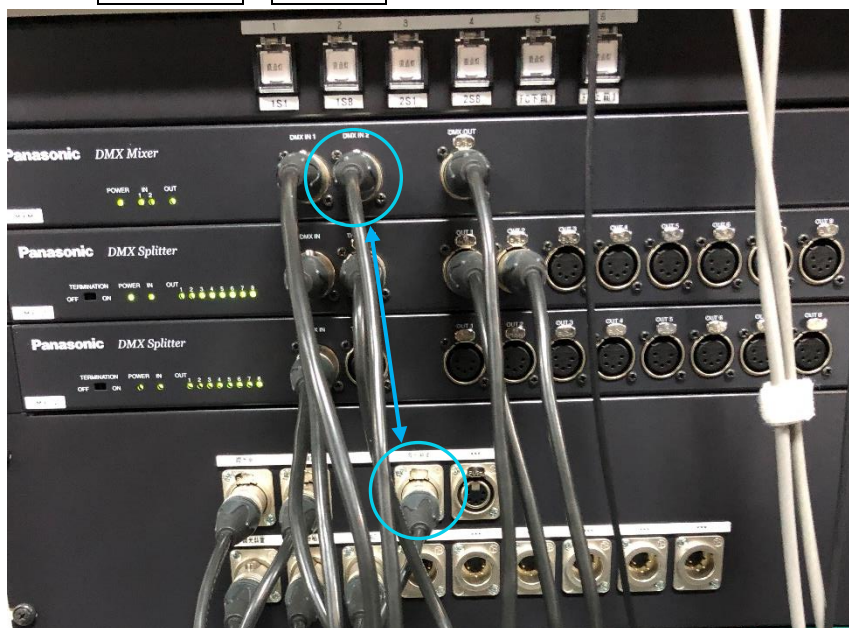
○持ち込み卓の操作場所がステージに近い場合

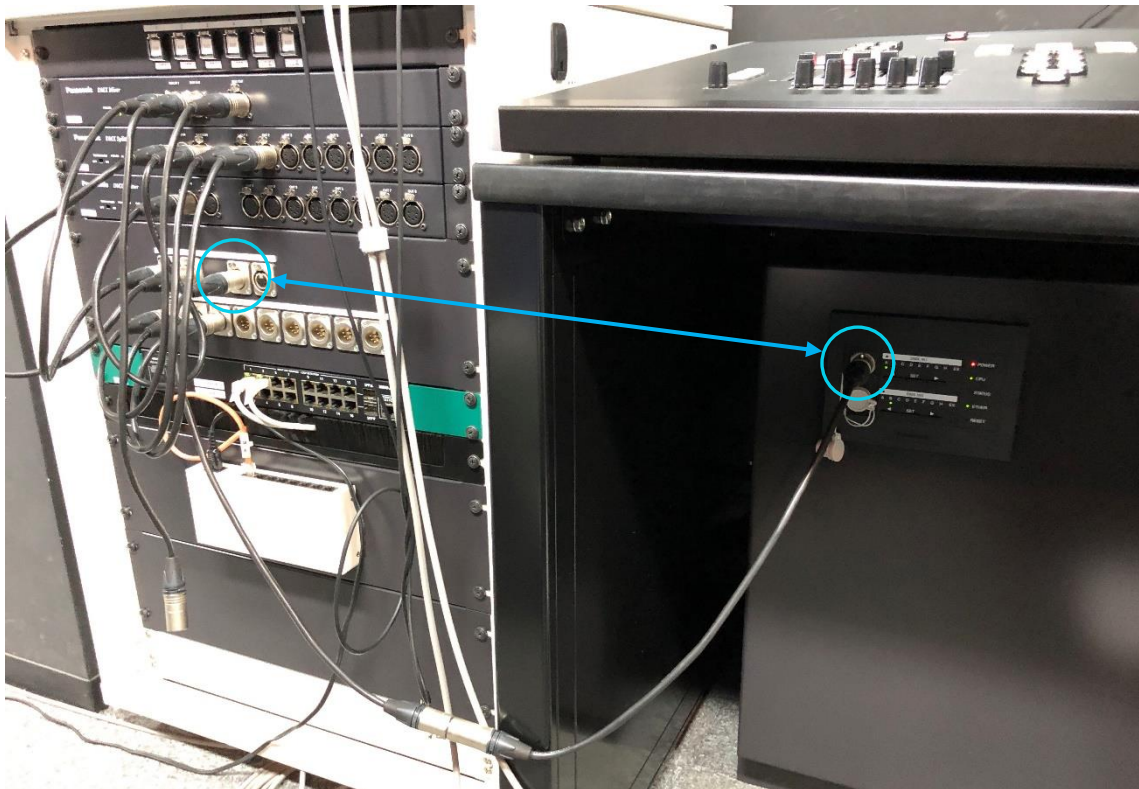
①下手袖の接続信号盤の **DMX IN** に接続している DMX ケーブルを抜いて、持ち込み卓の信号ケーブルを接続して下さい。

※下手袖ラック上の会館調光卓 **PLENO** は使用出来なくなります。



②次に調光室内の DMX ラックの DMX2 とパッチしている**舞台袖卓**側のケーブルを外して調光卓下部の **DMX IN 1** と**舞台袖卓**をパッチして下さい。



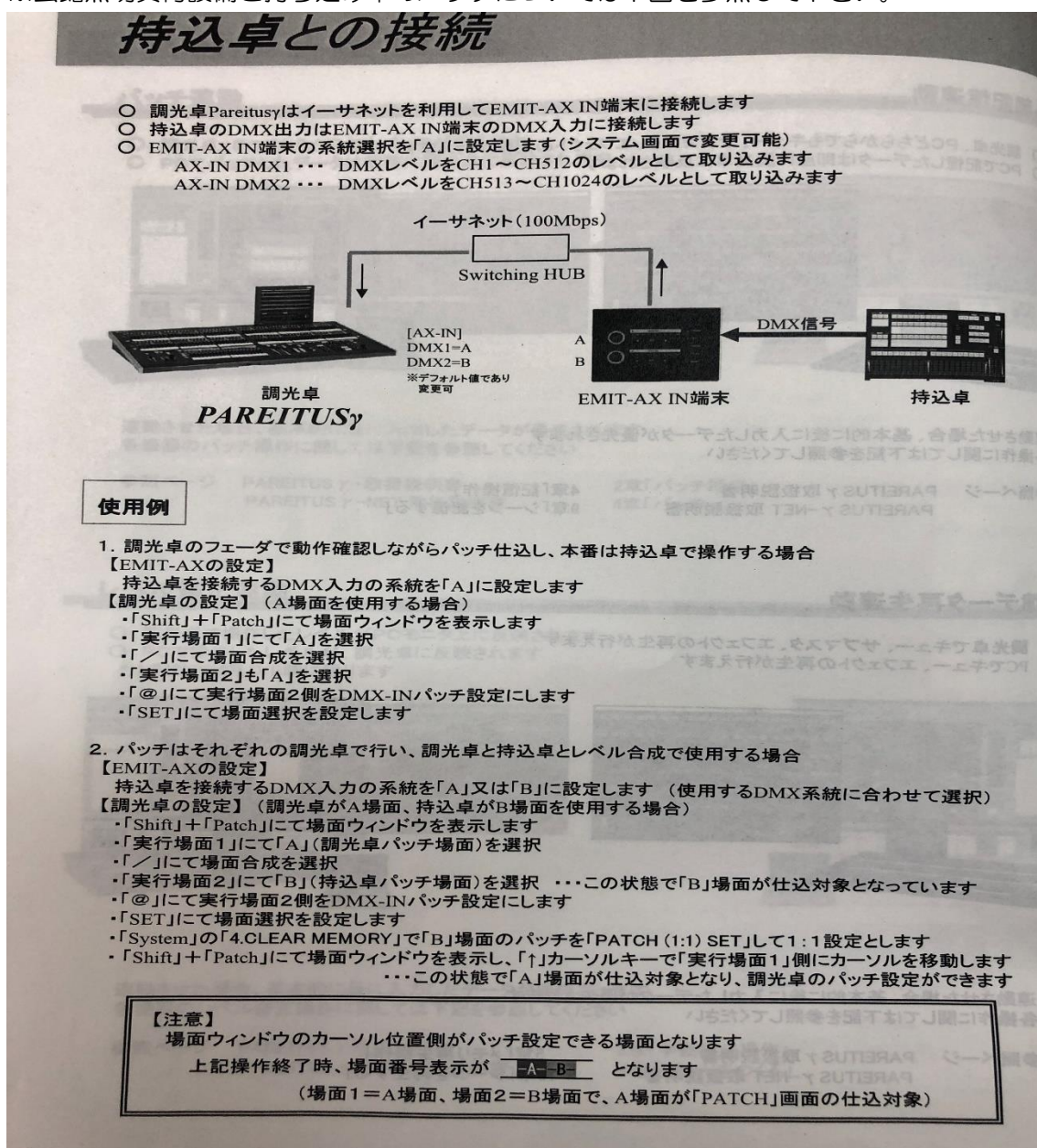


◎持ち込卓を調整室に設置して操作する場合



①調光卓下部の **DMX IN 1** に直接接続して下さい。

※会館照明負荷設備と持ち込み卓のパッチについては下図を参照して下さい。



DMX入力パッチを行う

DMX入力パッチは、EMIT-AX IN端末で変換したイーサネットの信号に対して行います。受信する系統(ユニバス)のデフォルトは1系統目(CH1-CH512)=A、2系統目(CH513-CH1024)=Bですが、SYSTEM画面で変更できます

前項「2場面合成機能」にて、実行場面2をDMX入力パッチに設定できます
DMX入力のDMX回路番号をチャンネル番号としてパッチして出力できます

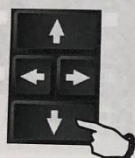
- 1 **Shift** シフトボタンを押しながら **Patch** パッチボタンを押してください

(1場面モード時は「場面変更ウィンドウ」が表示されます)
(2場面合成モード時は「2場面合成ウィンドウ」が表示されます)

- 2 **/** キーを押してください

(「2場面合成ウィンドウ」が表示されます)

- 3 実行場面1(上の段)と実行場面2(下の段)実行の場面を選択してください



上下で「入力位置」の
選択ができます
左右で「場面」の
選択ができます

(カーソルの有る場面が「PATCH」画面で操作できます)

- 4 **@** キーを押してください

実行場面2側が「DMX IN」モードに設定されます (再度「@」キーを押すと解除できます)

- 5 **SET** キーを押してください

上記ウィンドウ時、場面番号表示が **-A-B-** となります

(場面1=A場面、場面2=B場面で、B場面(赤表示)が「PATCH」画面の仕込対象)

※「PATCH」画面での仕込を切り替えたい場合

操作①→操作③にて「↓」「↑」操作→操作④で切り替わります

上記操作にて、場面番号表示が **-A-B-** に切替できます

(場面1=A場面、場面2=B場面で、A場面が「PATCH」画面の仕込対象)

※卓のCH用パッチと持込卓のDMX入力パッチを同じにしたい場合

場面1の選択場面と場面2の選択場面を同じにします

上記操作にて、場面番号表示が **-A-A-** となります

(A場面を選択した場合)

※1場面モードに戻す場合

上記操作①→操作②にて場面変更モード表示にする→操作④で切り替わります

上記操作にて、場面番号表示が **-A-** となります

(A場面実行状態)

